



コンテンツ スイッチング モジュール コマンドの使用

この章では、Content Switching Module (CSM; コンテンツ スイッチング モジュール) の設定方法について説明します。

- [CSM コマンドの使用 \(p.12-2\)](#)
- [コマンドモード \(p.12-3\)](#)

CSM コマンドの使用

ここでは、CSM コマンドについて簡単に説明します。CSM の設定および使用方法の詳細については、該当する各項を参照してください。

次に、基本的な操作を行うための CSM コマンドを示します。

コマンド	操作
write memory	設定を保存します。
write terminal	設定を参照します。
logging buffered debugging	システム ログ (Syslog) メッセージを収集します。
show logging	システム ログ (Syslog) メッセージを表示します。
clear logging	メッセージバッファを消去します。

CSM の CLI (コマンドライン インターフェイス) を使用すると、次の操作が実行できます。

- コマンドを入力する前に構文を確認します。
コマンドを入力して ? キーを押すか、または **help** コマンドに続けてコマンドを入力すると (例: **help aaa**)、サマリーが表示されます。
- コマンドの短縮形を使用します。
設定モードを開始する場合は **config t** コマンド、設定を表示する場合は **write t** コマンド ステートメント、フラッシュ メモリに書き込む場合は **write m** コマンドを使用します。ほとんどのコマンドで、**show** コマンドは **sh** に短縮できます。この機能は、コマンド完成機能といいます。
- Internet Assigned Number Authority (IANA) の Web サイトでポート番号およびプロトコル番号を確認します。
<http://www.iana.org/assignments/port-numbers>
<http://www.iana.org/assignments/protocol-numbers>
- テキスト エディタで設定を作成し、カットアンドペーストで設定を編集します。
カット アンド ペーストは 1 行ごと、または設定全体で行えます。広い範囲をペーストしたときには、誤りがないように必ず設定を確認してください。

CSM の設定方法の詳細については、『*Catalyst 6500 Series Content Switching Module Installation and Configuration Note*』を参照してください。

CSM に関する技術資料は、次の URL からオンラインで参照できます。

http://www.cisco.com/univercd/cc/td/doc/product/lan/cat6000/mod_1cn/csm

コマンドモード

CSM では Cisco IOS 技術に基づくコマンドセットを使用でき、次の各コマンドモードを利用してコマンドイネーブルモードで設定変更できます。



(注)

Catalyst オペレーティングシステムが稼働しているスイッチで CSM を使用する場合、ルータ プロンプトを表示するために Multilayer Switch Feature Card (MSFC; マルチレイヤ スイッチ フィーチャカード) とのセッションを開始する必要があります。

- ユーザモード

ユーザモードを使用すると、CSM の設定を確認できます。CSM にアクセスすると、ユーザモードのプロンプトが次のように表示されます。

```
Router>
```

- イネーブルモード

ユーザモードのコマンドはすべてイネーブルモードで使用できます。ユーザモードからイネーブルモードを開始するには、次のように **enable** コマンドを使用します。

```
Router> enable
Password:
Router
```

#プロンプトが表示されます。

イネーブルモードを終了してユーザモードに戻るには、次のように **exit** または **end** コマンドを使用します。

```
Router# exit
```

```
Logoff
```

```
Type help or '?' for a list of available commands.
Router>
```

イネーブルモードを終了してユーザモードに戻るには、次のように **disable** コマンドを使用します。

```
Router# disable
Router>
```

- コンフィギュレーションモード

コンフィギュレーションモードを使用すると、CSM の設定を変更できます。このモードでは、イネーブルモード、ユーザモード、およびコンフィギュレーションモードのすべてのコマンドが使用できます。コンフィギュレーションモードを開始するには、次のように **configure terminal** コマンドを使用します。

```
Router# configure terminal
Router(config)#
```

コンフィギュレーションモードを終了してイネーブルモードに戻るには、次のように **exit** または **end** コマンドを使用します。

```
Router(config)# end
Router#
```

コンフィギュレーションモードを終了してユーザモードに戻るには、次のように **disable** コマンドを使用します。

```
Router(config)# disable
Router>
```

- サブモード
サブモードでは、プロンプトが次のように表示されます。
Router (config-submode_name) #

正規表現

CSM コマンドで使用される正規表現は、UNIX のファイル名仕様に準拠します。正規表現は、次のコマンドで使用します。

- [match protocol http cookie](#) (cookie マップ サブモード) (p.22-21)
- [match protocol http header](#) (ヘッダー マップ サブモード) (p.22-26)
- [match protocol http url](#) (URL マップ サブモード) (p.22-30)

正規表現	意味
*	0 個以上の文字
?	1 文字 — [Ctrl+V] の入力が必要
\	エスケープ文字
	または
[] で囲まれた範囲 (例 : [0-9])	範囲内のあらゆる 1 文字と一致
範囲の先頭に ^ を付加	範囲内のどの文字とも一致しない
.\a	アラート (ASCII 7)
.\b	バックスペース (ASCII 80)
.\f	フォーム フィールド (ASCII 12)
.\n	改行 (ASCII 10)
.\r	Carriage Return (CR; 復帰) (ASCII 13)
.\t	タブ (ASCII 9)
.\v	垂直タブ (ASCII 11)
.\0	ヌル (ASCII 0)
.\	バックスラッシュ
.\x##	2 桁の 16 進表記で指定されたあらゆる ASCII 文字